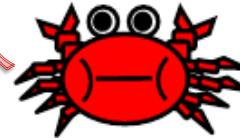


冷凍ずわいがにの輸入

近畿圏の輸入金額が全国トップ

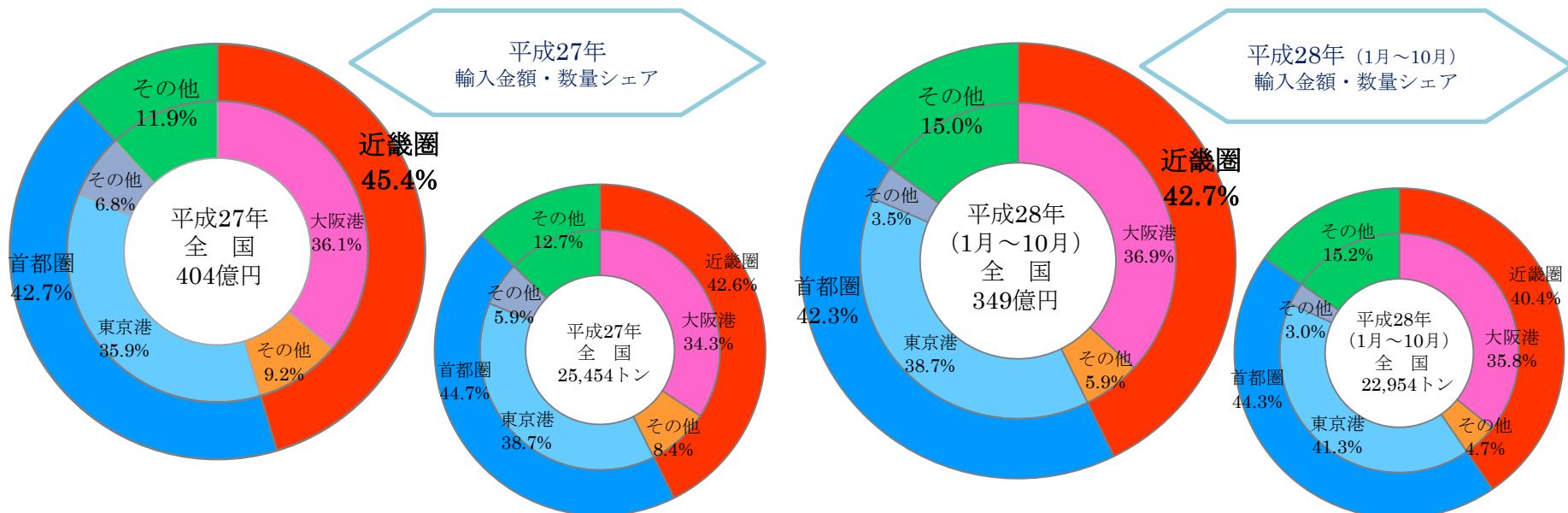


平成28年12月19日
大阪税関

寒い季節、特に年末年始の味覚の代表格となっている「かに」には色々な種類がありますが、中でも、かに本来の旨味が感じられると言われる「ずわいがに」は多くの人に食されています。近年の冷凍技術と保管技術の進歩によって、より美味しく頂けるようになった「冷凍ずわいがに」の輸入について特集しました。

【経済圏別港別シェア】

平成27年の近畿圏の「冷凍ずわいがに」の輸入金額は183億円で全国比45.4%となり、全国でトップとなっています。業界の話によると、輸入される「冷凍ずわいがに」は2種類あり、水揚げ後、生のまま急速冷凍された「生ずわいがに」と、一度茹でてから急速冷凍される「ボイルずわいがに」に分かれ、近畿圏は「生」、首都圏は「ボイル」での輸入が多いとのことです。これは、関西と関東の食文化の違いによるもので、関西では「生」のものをしゃぶしゃぶなどにして食べることが好まれ、関東では「ボイル」されたものを解凍し、そのまま食べることが好まれることです。



(注1) 本特集における冷凍ずわいがには、統計品目番号0306.14-020「冷凍したもの（ずわいがに）」に分類されるものを集計しています。

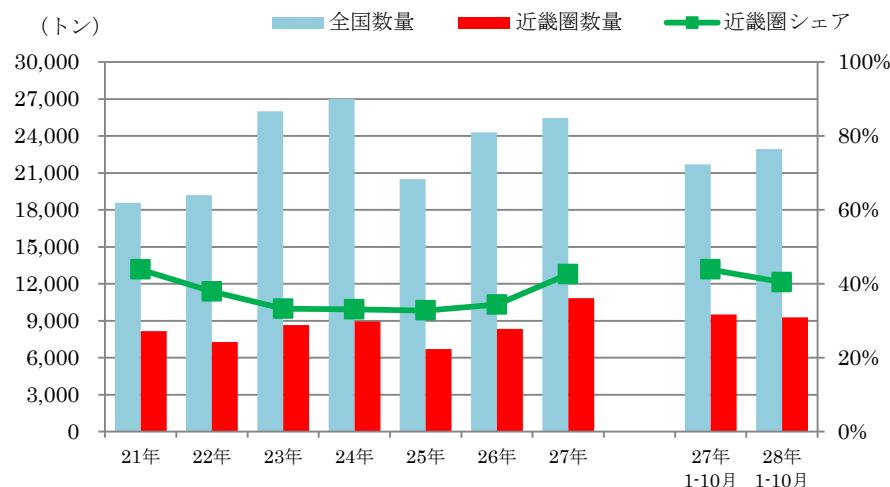
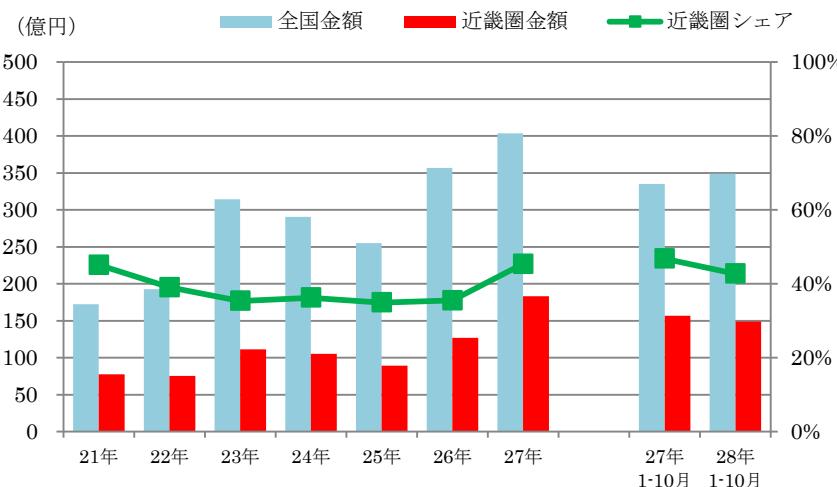
(注2) 本特集における経済圏は以下の都府県を含むものです。

近畿圏：大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県

首都圏：東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨の1都7県

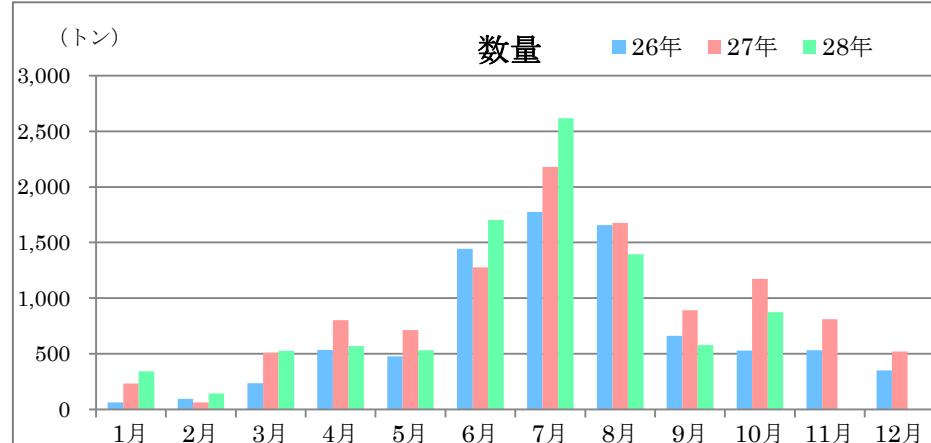
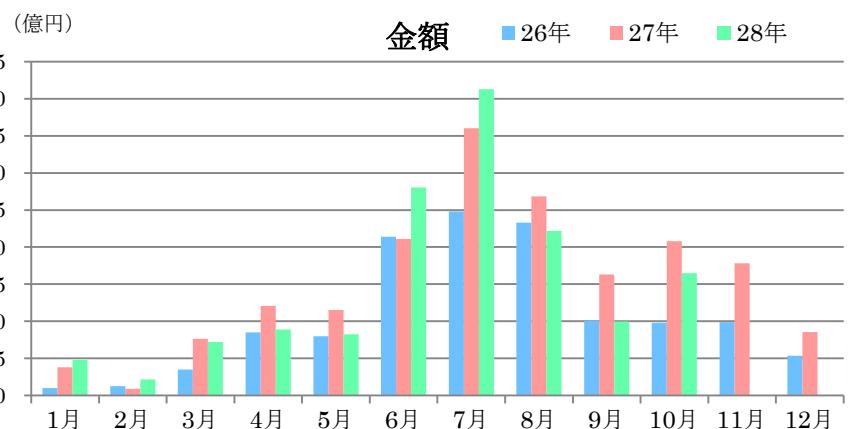
【輸入金額・数量推移】

平成27年の輸入金額は、全国404億円（対前年比13.2%増）、近畿圏183億円（同44.6%増）、輸入数量は、全国25,454トン（同4.8%増）、近畿圏10,849トン（同29.9%増）となっています。数量に対して金額の伸び率が高いことについて、業界の話によると、世界的に資源保護の観点から漁獲枠を削減していることや、他国での需要の増大などが要因となり、単価が上がっているとのことです。



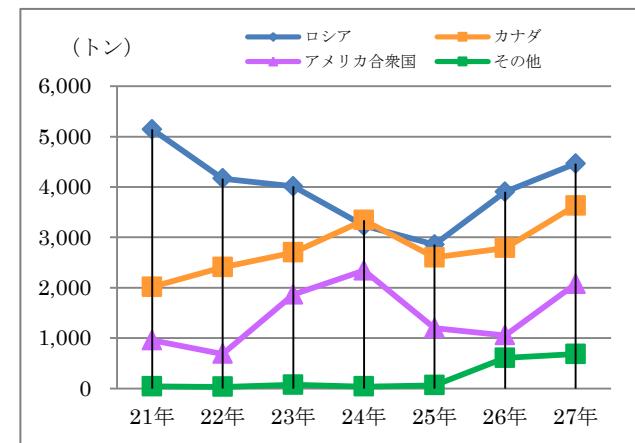
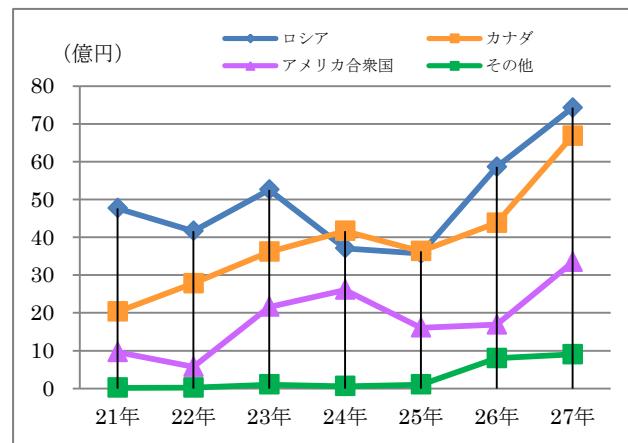
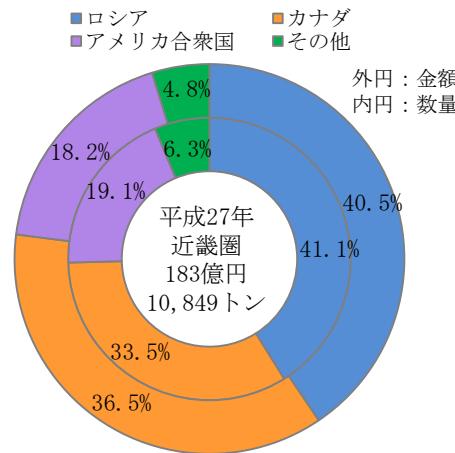
【近畿圏 月別推移】

近畿圏における過去3年間の月別推移をみると、4月頃から増え始め、7月がピークとなっています。これは業界によると、漁獲量の多いロシアやカナダでは4月頃から漁獲が始まることから、夏季の輸入が増えるとのことです。



【近畿圏 国別シェア】

平成27年の近畿圏における輸入国別金額シェアは、ロシアが40.5%（対前年比26.7%増）、カナダが36.5%（同52.5%増）、アメリカ合衆国が18.2%（同98.2%増）の順となり、数量シェアでも、ロシアが41.1%（同14.3%増）、カナダが33.5%（同30.2%増）、アメリカ合衆国が19.1%（同96.7%増）の順となっています。



ずわいがにメモ

日本海やオホーツク海、ベーリング海、北大西洋などの水深200m～600mの深海に主に生息し、水温0～3度程度の冷たい水域を好む。栄養豊富なプランクトンを食べ、脱皮を繰り返して成長し、漁獲可能となるサイズになるのに10年近くかかる。



【まとめ】

かには、美味しいだけではなく、高タンパク、低カロリーで、ビタミン、ミネラルも含まれる食品です。赤い色がめでたい席で好まれ、ハサミを上下に振る姿がツキを招いているように見えることから、縁起が良いとされているそうです。業界によると、今後もしばらくは高値のまま横ばいの見込みであるが、資源の回復が期待されており、中長期的には輸入量の安定供給が見込まれることです。焼きがに、かに鍋、バター焼きなど、様々な調理法がある「かに」。ご家庭や旅先などで楽しんでみてはいかがでしょうか。

【データ集】

【年別輸入実績】

年	輸入金額				輸入数量					
	全国		近畿圏		全国		近畿圏			
	億円	前年比	億円	前年比	全国比	トン	前年比	トン	前年比	全国比
21年	172	69.5%	78	82.9%	45.1%	18,582	88.2%	8,153	105.3%	43.9%
22年	193	112.0%	75	96.9%	39.0%	19,203	103.3%	7,287	89.4%	37.9%
23年	315	163.0%	111	147.7%	35.4%	25,999	135.4%	8,646	118.7%	33.3%
24年	291	92.4%	105	94.7%	36.2%	27,033	104.0%	8,949	103.5%	33.1%
25年	255	87.7%	89	84.5%	34.9%	20,497	75.8%	6,716	75.0%	32.8%
26年	357	139.9%	127	142.3%	35.5%	24,296	118.5%	8,353	124.4%	34.4%
27年	404	113.2%	183	144.6%	45.4%	25,454	104.8%	10,849	129.9%	42.6%
27年 1-10月	335	111.4%	157	140.6%	46.8%	21,708	103.7%	9,517	127.4%	43.8%
28年 1-10月	349	104.1%	149	95.1%	42.7%	22,954	105.7%	9,284	97.5%	40.4%

【近畿圏 月別推移】

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	億円	1	1	4	9	8	21	25	23	10	10	10
トン	63	94	235	535	477	1,445	1,776	1,656	661	529	533	349
年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	億円	4	1	8	12	12	21	36	27	16	21	18
トン	233	64	509	802	713	1,278	2,179	1,676	890	1,173	810	522

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
億円	5	2	7	9	8	28	41	22	10	16	-	-
トン	344	143	526	569	533	1,704	2,618	1,394	578	875	-	-

【経済圏別港別シェア】

	平成27年				平成28年（1月～10月）			
	輸入金額		輸入数量		輸入金額		輸入数量	
	億円	全国比	トン	全国比	億円	全国比	トン	全国比
全国	404	100.0%	25,454	100.0%	349	100.0%	22,954	100.0%
近畿圏	183	45.4%	10,849	42.6%	149	42.7%	9,284	40.4%
大阪港	146	36.1%	8,719	34.3%	129	36.9%	8,215	35.8%
その他	37	9.2%	2,130	8.4%	21	5.9%	1,069	4.7%
首都圏	173	42.7%	11,366	44.7%	148	42.3%	10,176	44.3%
東京港	145	35.9%	9,860	38.7%	135	38.7%	9,482	41.3%
その他	28	6.8%	1,506	5.9%	12	3.5%	695	3.0%
その他	48	11.9%	3,239	12.7%	52	15.0%	3,494	15.2%

【近畿圏 国別推移】

年	ロシア		カナダ		アメリカ合衆国		その他	
	億円	トン	億円	トン	億円	トン	億円	トン
21年	48	5,142	20	2,018	10	955	0	39
22年	42	4,166	28	2,407	6	684	0	29
23年	53	4,010	36	2,699	22	1,864	1	73
24年	37	3,230	42	3,342	26	2,340	1	36
25年	36	2,854	36	2,602	16	1,196	1	63
26年	59	3,904	44	2,788	17	1,055	7	606
27年	74	4,463	67	3,629	33	2,074	9	682

※本資料を他に転載するときは、

大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。

※本資料に関するお問い合わせは大阪税関調査部調査統計課まで。

（電話06-6966-5385）

大阪税関ホームページ（<http://www.customs.go.jp/osaka/>）